



International Nanotechnology Exhibition & Conference

nano tech 2023

国際ナノテクノロジー 総合展・技術会議

開催報告書

Jtb Communication Design

作成：2023年6月30日v2

開催概要/出展者・来場者数

名 称	nano tech 2023 第22回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議
日 時	展示会開催（東京ビッグサイト）： 2023年2月1日（水）～3日（金）10:00～17:00 オンライン展示期間： 2022年12月1日（木）～2023年2月28日（火）
会 場	東京ビッグサイト東1・2ホール&会議棟

同時開催展



来場者数（同時開催展合計）

40,170 名

※オンライン参加含む

東京ビッグサイト来場者

開催日	天候	来場者数
2/1（水）		8,653 名
2/2（木）		10,750 名
2/3（金）		11,734 名
3日間合計		31,137 名



出展者数（nano tech 単独）

370 団体

国内：291 / 海外：79

ブース出展者

366

国内：287
海外：79

オンライン出展者

4

国内：4
海外：0

小間数

402

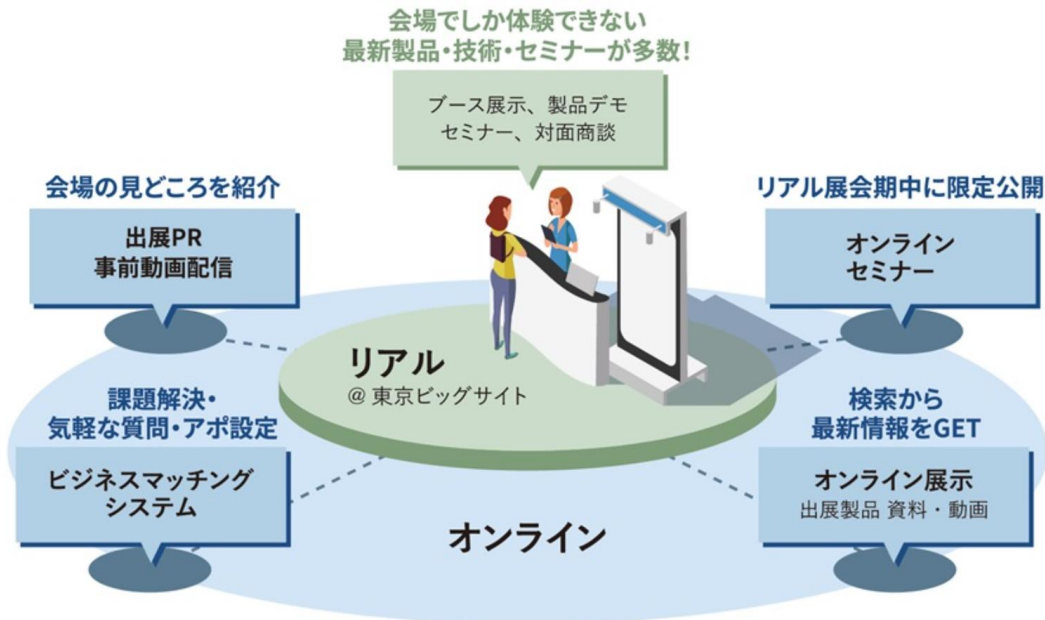
国内：347
海外：55

海外出展者

15カ国

カナダ、ポーランド、カナダ、ドイツ、スイス、中国、韓国、アメリカ、オーストリア、ベルギー、マレーシア、ノルウェー、台湾、チエコ、オランダ、フランス、スウェーデン

商談機会・コミュニケーション機会を最大化



Point

1. 情報発信・取得機会の増加

リアル展（従来）

- ・ブース内実施施策
- ・会場内セミナー

オンライン

来場者：オンラインでも充実した情報収集可能
オンラインセミナー視聴可能

出展者：各社最大10製品まで資料/動画掲載
オンラインセミナーでPR

2. 商談機会の最大化

リアル展（従来）

- ・当日に対面でのブース内商談
- ・会場内で人脈作り、交流（偶発的な出会い）

オンライン

ビジネスマッチングシステムで会期前に商談設定

2月1日(水) 9:30-11:20

二次電池におけるナノ粒子プロセス

 微粒子の構造制御による電池材料への展開 内藤 牧男 氏 大阪大学 接合科学研究所 教授	 アシザワ・ファインテックの微粉砕・分散技術を活用したリチウムイオン電池製造プロセスへの提案 長井 明 氏 アシザワ・ファインテック 営業課 業務推進役	 リチウムイオン電池正極用分散剤 平石 篤司 氏 花王 テクノケミカル研究所 上席主任研究員	 リチウムイオン二次電池材料の性能向上を目指す粉砕・分散 五十嵐 章裕 氏 アイメックス 取締役専務	 全固体電池正極活物質へのナノスケールコーティング 吉森 誠 氏 パウレック 研究開発本部 アシスタントマネジャー
--	---	---	---	--

2月1日(水) 11:45-13:30

ナノ粒子分散系をプロセスサイエンスでひも解く

 プロセスサイエンス基礎構築を目指すもの 永野 智己 氏 文部科学省 プログラムオフィサー / 技術参事	 ナノ材料の界面・構造制御プロセスサイエンスの基礎構築への挑戦 阿部 雅文 氏 東北大学 材料科学高等研究所 教授	 ナノ粒子分散系は疑似分子系でモデル化・設計できるか 宮居 高明 氏 東北大学 多元物質科学研究所 准教授	 ナノ粒子表面と溶媒の相互作用はどこまで理解できたかー粗視化分子動力学シミュレーションからのアプローチー 久保 百司 氏 東北大学 金属材料研究所 教授	 ナノ粒子表面と溶媒の相互作用はどこまで理解できたかーナノ粒子の構造形成に及ぼすプロセス影響からのアプローチー 塚田 隆夫 氏 東北大学 未来科学技術共同研究センター 特任教授	 プロセスサイエンスの社会実装への産学連携仕組み作り 保城 秀樹 氏 東北大学 未来科学技術共同研究センター 特任教授 博士(工学)
--	--	--	--	--	---

2月1日(水) 15:00-17:00

酸化物型全固体電池実現への道

 酸化物型全固体電池の実現に向けたプロセスサイエンスへの挑戦 高田 和典 氏 物質・材料研究機構 エネルギー・環境材料研究拠点 拠点長	 酸化物型全固体電池における低温接合プロセスへの挑戦 三好 正悟 氏 物質・材料研究機構 エネルギー・環境材料研究拠点 主任研究員	 酸化物型全固体電池の接合界面の反応予測へのアプローチ 大出 真知子 氏 物質・材料研究機構 構造材料研究拠点 主任研究員	 酸化物系固体電解質を用いた積層全固体電池の実現に向けた材料・プロセス開発 川村 知栄 氏 太陽誘電 開発研究所 材料開発一部 主任研究員	 LLZ系酸化物固体電解質および全固体電池の開発 彦坂 英昭 氏 日本特殊陶業 材料開発本部 研究部 主席専門職
---	--	--	---	---

2月2日(木) 9:30-11:30

データ駆動型ナノテクノロジー ～素材からデバイス、システムへ～

 多結晶材料情報学を基盤とした材料開発の新展開 宇佐美 徳隆 氏 名古屋大学大学院工学研究科 教授	 アナログ集積回路の自動設計・合成 高井 伸和 氏 京都工芸繊維大学 教授	物理リザパー・コンピューティングによる省電力情報処理 山根 敏志 氏 IBM東京基礎研究所 リサーチ・スタッフ・メンバー
--	---	--

2月2日(木) 12:15-13:45

プロセスインフォマティクスの最前線 ～次世代の機能性マテリアルの開発加速【新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)】

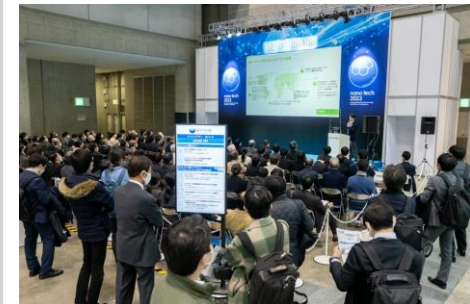
 フロー合成法による重合反応精密制御に向けたプロセスインフォマティクス 藤井 幹也 氏 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科・データ駆動型サイエンス創造センター 教授	 SiC結晶製造技術の革新に向けたプロセスインフォマティクス技術の研究 土田 秀一 氏 電力中央研究所 エネルギー変換システム研究本部 材料科学研究部門 研究開発推進マネージャー・副研究参事	 マテリアルDXが拓くフラックス法結晶育成 手嶋 勝弥 氏 信州大学 先端材料研究所 所長・教授
--	--	---

2月2日(木) 15:00-17:00

サーキュラーエコノミーを支える技術最前線

 サーキュラーエコノミー実現に向けた政策の動向 喜多川 和典 氏 日本生産性本部 コンサルティング部 エコマネジメントセンター長	 プラスチック資源循環社会に向けた花王の挑戦 松本 州平 氏 花王 包装技術研究所 グループリーダー	 BASFが目指すサーキュラーエコノミーへの移行 入江 剛 氏 BASF ジャパン 経営推進本部 サステナビリティ推進部 部長	 カーボンニュートラルと資源循環の同時実現に向けた有価物回収技術ーリチウムイオン電池と太陽光パネルを例にしてー 所 千晴 氏 早稲田大学理工学術院・教授 / 東京大学大学院工学系研究科・教授
---	---	--	--

主催者企画として37講演を実施



2月3日(金) 9:30-11:00

創薬に向けたナノ構造解析最前線



**BINDSにおける異分野融合研究
～クライオ電顕用グリッドの開発～**

井上 豪 氏

大阪大学大学院薬学研究科 教授



**立体構造情報を活用した
DNAナノテクノロジーと創薬への応用**

近藤 次郎 氏

上智大学理工学部
物質生命理工学科 准教授



**神経変性疾患の原因となる
異常タンパク質凝集体の構造と性質**

長谷川 成人 氏

東京都医学総合研究所
脳・神経科学研究分野長

2月3日(金) 11:45-13:45

ナノテクで加速する量子未来社会



**日本の量子政策の最前線
～ナノテクとの融合による
量子技術の実用化に向けて～**

迫田 健吉 氏

文部科学省 研究振興局 基礎・
基盤研究課 量子研究推進室 室長
内閣府科学技術・
イノベーション推進事務局 企画官



超伝導量子コンピュータ

田淵 豊 氏

理化学研究所
量子コンピュータ研究センター
超伝導量子計算システム
研究ユニット ユニットリーダー



**量子コンピュータの
現状と未来**

藤井 啓祐 氏

大阪大学
大学院基礎工学研究科 教授
量子情報・量子生命研究センター
副センター長



**固体中スピン欠陥を
活用した量子センシング**

大島 武 氏

量子科学技術研究開発機構
量子機能創製研究センター
センター長



**量子センシングと
超偏極MRI**

根来 誠 氏

大阪大学 量子情報・
量子生命研究センター 准教授
量子科学技術研究開発機構
量子生命科学研究所
グループリーダー

2月3日(金) 15:30-17:00

死の谷を越える生産技術革命～MIとPIの一体化による高速実装～



**日本のマテリアル産業を変える!
～データ駆動型開発によるマテリアル分野
スタートアップ創出のエコシステム構築の挑戦～**

木場 祥介 氏

ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター
代表取締役パートナー



**データ駆動による
タンパク質素材開発**

坂田 一樹 氏

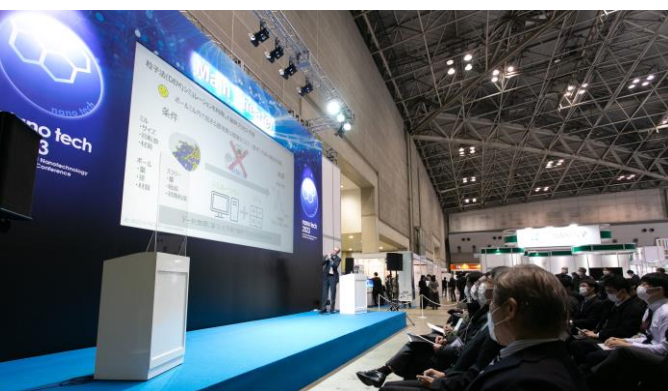
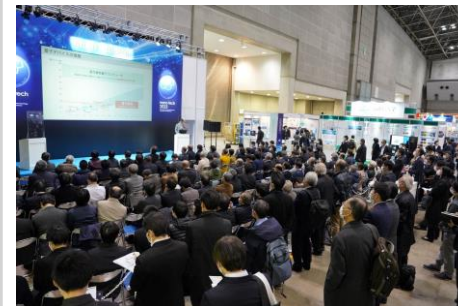
Spiber 執行役員 /
マテリアル部門長



**材料革新への挑戦:
MI×PI×DX@KYOCERA**

仲川 彰一 氏

京セラ 執行役員
研究開発本部長 兼
デバイス研究開発統括部長



nano tech 大賞とは

最優秀出展者として「nano tech大賞」および優秀出展者として各「部門賞」を下記の評価基準でnano tech 実行委員が審査を行い決定します。

評価基準

1. 先進性・独創性

- 技術開発の着眼点、アイデア、新規性・独創性の有無
- 基礎基盤技術、主要構成部分の技術、周辺技術、または実用化技術の確認
- 将来期待できる潜在的な効果または事業化有望性の有無

2. 特許・文献発表等

- 特許、実用新案、意匠、商標等の取得状況（国内外問わず取得済み及び申請中のもの）
- 文献等の発表状況（文献名、発表年月日等）、公開データの信憑性

3. 商品性・市場性・経済性

- 商品化企画についてニーズへの適合性
- 市場におけるライフサイクルタイム・年数、市場規模予測、競合分析
- 販売実績（実績データ等）、実績がないものは販売計画（予定時期、数量、価格等）

4. その他

- 環境保全性、安全性に関し工夫した点、または配慮されている点

受賞各社と受賞理由

1. nano tech大賞

先進性/実用性/事業性などが総合的に優れており、社会/産業的な貢献も期待できる製品・技術

日本ゼオン（小間番号: 1L-13）

カーボンナノチューブの熱電変換素子で災害時の建築物・熱配管の不具合を瞬時にセンシングして無線で知らせるシステムなどを開発。カーボンナノチューブの様々な事業展開を賞す。



受賞各社と受賞理由

2. マテリアル賞 上記大賞に準じる製品・技術のうち、特に優れているナノ材料技術・製品

Preferred Computational Chemistry (PFCC) (小間番号: 1G-16)

従来は数か月を要した原子レベルの物理シミュレーションを、人工知能の深層学習によって数秒でこなせる技術を開発。触媒や固体電解質などの新素材開発をソフトウェアの面から支援可能にしたことを賞す。



6. 特別賞 海外出展者を対象とした特別賞

台湾パビリオン (小間番号: 1N-04)

生理学・医学、エネルギー、エレクトロニクス/オプトエレクトロニクス、計測、製造、材料と幅広い分野で成果を挙げている最先端ナノテクノロジーの総合力を賞す。



3. アナリティクス賞 上記大賞に準じる製品・技術のうち、特に優れている計測・評価・分析技術・製品

日本電子 (小間番号: 1T-10)

低加速電圧でも高分解能のFIB-SEMシステムなど、ユーザーニーズに合った様々な分析装置を開発して事業展開を進めている点を賞す。



7. ビジネスマッチング賞 ビジネスマッチングシステムを通じて獲得した商談件数が最も多かった出展者

オンチップ・バイオテクノロジー (小間番号: 1A-06)

ビジネスマッチングシステムを活用し、独自のミリオンスケール微生物スクリーニング技術の積極的なオープンイノベーションに取り組んだ点を賞す。



4. ナノプロセス賞 上記大賞に準じる製品・技術のうち、特に優れているナノ加工技術・製品

アシザワ・ファインテック (小間番号: 1G-04)

サブミクロンまでの分散が可能になった乾式の粉体機器を開発。今後、市場が拡大する電気自動車用二次電池の性能向上に見通しを付けた点を賞す。



8. GX賞 グリーン・トランスフォーメーションに貢献する技術

東レ (小間番号: 1G-13)

グリーンとナノテクの融合により、CO2排出を大幅に削減するマテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル、バイオ、CO2活用の新技術を総合的に展開している点を賞す。



5. 産学連携賞 産・学の連携によって高度な技術開発が行われ、その事業化が有望視されるもの

伊勢化学工業/山形大学 (小間番号: 1U-01)

ペロブスカイト型量子ドットの発光波長を、粒子サイズだけでなく素材の元素を変えることで1nmの制御を可能にした。高色域のディスプレイに適用できる可能性を賞す。



9. 日刊工業新聞社賞 特別協賛社として日刊工業新聞社が独自に審査・選定

TDK (小間番号: 1N-19)

世界初の「厚み約0.1mm」で「凹凸表面にも形成可能」な「サマリウムコバリトマイクロ磁石」。従来の真空蒸着法などでは形成困難であった厚みを実現しただけではなく、液体を使う特殊な成膜方法で任意形状の表面に均質な膜を形成でき、かつ、従来の焼結サマリウムコバリト磁石に匹敵する磁気特性を有す。モーターやセンサーなどの新たな用途への活用が見込まれる。



主催者企画特別展示

第4回ナノカーボンオープンソリューションフェア 共催： ナノテクノロジービジネス推進協議会（NBCI）

ナノカーボンのあらゆる用途開発のためのオープンソリューションをコンセプトにナノカーボン材料・計測・製造プロセス等27社が出展いたしました。

第4回ナノカーボンオープンソリューションフェア 特別講演



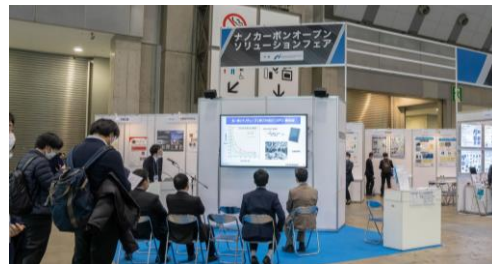
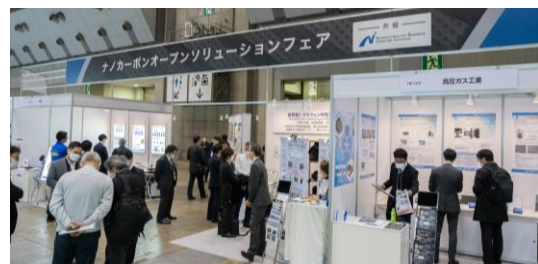
ナノカーボン特別講演 マルチハザード時代の都市防災科学技術
～東京理科大学の取り組み～

山本 貴博 氏
東京理科大学 理学部物理学科 教授/博士（理学）
preArch 取締役



ナノカーボン特別講演 カーボンナノチューブ市場の現状と将来展望

遠藤 光司 氏
矢野経済研究所
インダストリアルテクノロジーユニット上級研究員



出展者名	小間番号
GSICレオス	1W-13-A
常光	1W-13-E
NSC	1W-13-B
日本ゼオン	1W-13-F
インキュベーション・アライアンス	1W-13-C
高圧ガス工業	1W-13-D
Bergen Carbon Solution	1W-13-G
北越コーポレーション	1W-13-17
仁科マテリアル	1W-13-01
日本資材	1W-13-15
FCM	1W-13-05
花王	1W-13-03
サンアロー	1W-13-07
堀場製作所	1W-13-09
楠本化成	1W-13-13
美粒	1W-13-10
戸田工業	1W-13-11
マイクロフェーズ	1W-13-02
双日	1W-13-12, 14
大日精化工業	1W-13-18
StatPeel	1W-13-19
日本電気	1W-13-16
シーズテクノ	1W-13-12
スペクトリス マルバーン・パナリティカル事業部	1W-13-08
三洋貿易	1W-13-06
プロテリアル	1W-13-20
マテリアルイノベーションつくば	1W-13-21

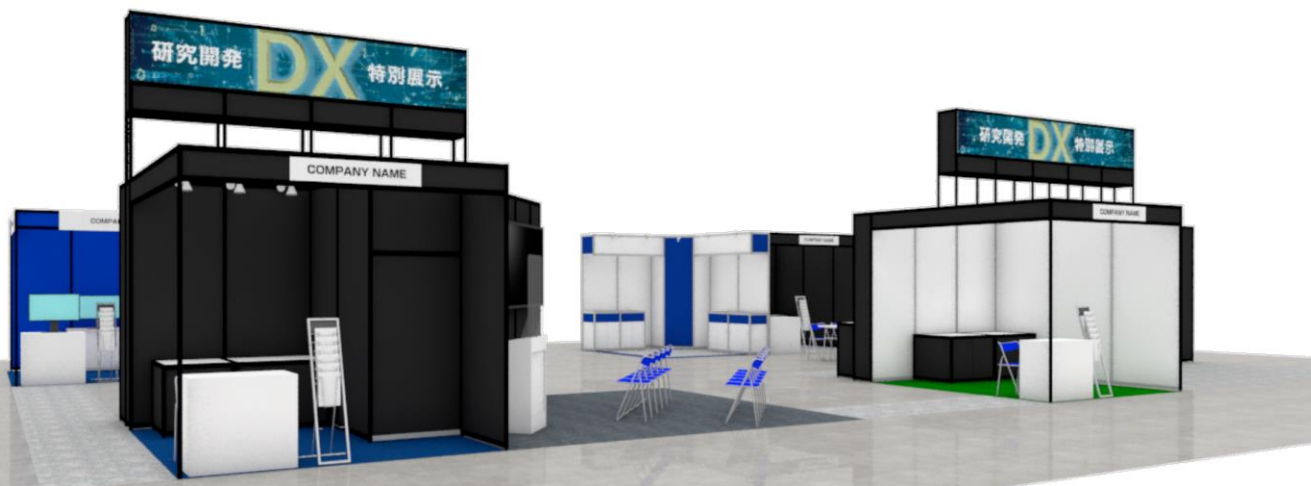
研究開発DX特別展示

前回に引き続きピックアップした 研究開発DX特別展示 では、マテリアルズ・インフォマティクス(MI)、プロセス・インフォマティクス(PI)、またシミュレーションソフトウェア等、データドリブンな研究開発とその高度化を実現するDXソリューションを展開。前回は上回る 13社 の方々にご出展いただき、来場者に有益な情報をご紹介いただきました。

【実施内容】

- ・ MIをはじめとした 研究開発DX関連の製品・ソリューションを有する企業、団体によるブース出展 (リアル出展、オンライン出展)
- ・ 出展者によるプレゼンテーション (各15分間)

出展企業	小間番号
JSOL	2W-19-01
キャトルアイ・サイエンス	2W-19-02
MI-6	2W-19-03
ダッソー・システムズ	2W-19-04
物質・材料研究機構	2W-19-05
日本システム開発	2W-19-06
SCSK	2W-19-07
計算科学振興財団	2W-19-08
東京大学辻研究室 / プロダクト・イノベーション協会	2W-19-09
トヨタ自動車	2W-19-10
データ創出・活用型磁性材料研究拠点 (DXMag)	2W-19-11
CrowdChem	2W-19-12
日立製作所	オンライン

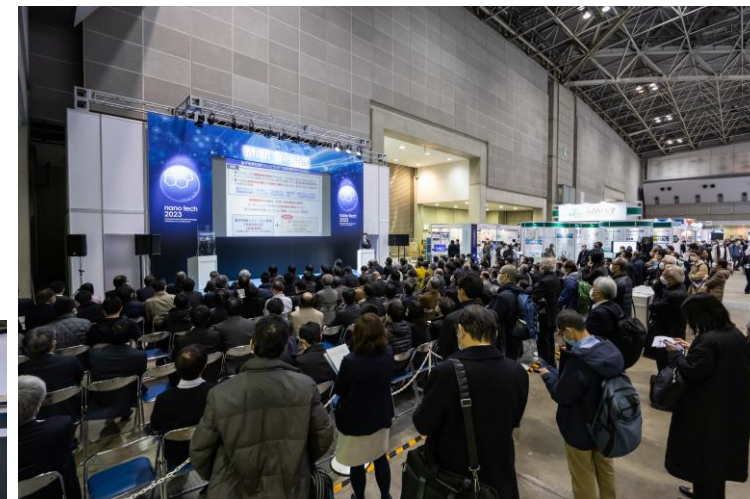
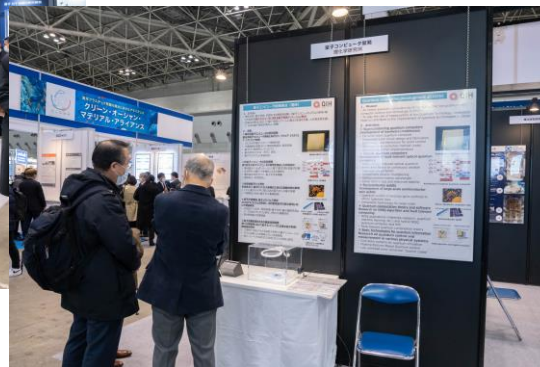


「ナノテクで加速する量子未来社会」量子ゾーン

昨年に続き「ナノテクで加速する量子未来社会」 特別シンポジウムの開催と併せ量子技術イノベーション拠点10拠点のパネル展示を実施。2030年量子技術による社会変革に向けた戦略と国産量子コンピュータ研究開発最前線として64量子ビットチップおよびNEDOプロジェクトによる量子アニーリング技術の研究開発モックアップが展示されました。

また初の量子ゾーン出展者として世界最大級の量子コンピューティング企業など3社が出展いたしました。

出展企業	小間番号
量子技術イノベーション拠点（理化学研究所）	2L-22
量子ソフトウェア研究拠点（大阪大学）	2H-26
クオンティニウム	2N-26
エルエイシステムズ	2Q-26
量子材料技術 / GSアライアンス	2P-26



nanocellulose TECH ナノセルロース・テック

植物由来のカーボンニュートラルな材料「ナノセルロース」の実用化と応用技術を一堂に集める企画として実際の応用事例を集めた立体サンプル展示のほか、ブースでは製品に取り入れる際の技術相談が活発に行われました。

ナノセルロースジャパン特別講演

会員企業による様々な製造技術によるセルロースナノファイバーの特徴と応用事例が紹介されました。



出展企業	小間番号
相川鉄工	2D-24
カミ商事	2C-22
ナノセルロースジャパン ・大王製紙 ・産業技術総合研究所 ・第一工業製薬 ・吉川国工業所 ・堀場製作所 ・中越パルプ工業 ・富士市CNFプラットフォーム ・花王 ・ユニチカ ・北越コーポレーション ・ネイチャーギフト（ヘキサケミカル） ・KRI ・モリマシナリー ・丸住製紙 ・王子ホールディングス ・東亜合成 ・あいち産業科学技術総合センター ・日本製紙	2E-22
ブッス・ジャパン	2C-23-01
王子ホールディングス	2C-23-02
日本製紙	2C-23-03

主催者企画特別展示

スタートアップの持つシーズのビジネス化の実現のほか、研究と産業界のニーズをつなぐ場所としてオープンイノベーションを加速し新たなビジネスチャンスを創出を目的に実施いたしました。

スタートアップ展示

優れた技術を持つスタートアップ・ベンチャー企業の新たなビジネスチャンスを創出することを目的に企画、15分ピッチで発表いただきました。(4㎡または6㎡)

アカデミアポスターセッション

業界へ研究成果を広く公開し次の研究ヒントや共同研究先の開拓が可能なポスター展示と15分ピッチで発表いただきました。



nano tech 2023 特別シンポジウム関連展示

特別シンポジウムでご講演いただいた研究や材料などを展示いただき、来場者に講演内容の理解を深めていただくために企画いたしました。



講演一覧 (特別シンポジウム・主催者企画講演・出展者セミナー・ナノテクノロジー関連会議)

2月1日 (水)

東1 ホール		東2 ホール	
メインシアター	メインシアター	シース&ニースセミナーA	シース&ニースセミナーB
[nano tech 特別シンポジウム] 二次電池におけるナノ粒子プロセス	[nano tech 特別シンポジウム] ナノ粒子表面と溶媒の相互作用はどのように理解できたか ナノ粒子の構造形成に及ぼすプロセス影響からのアプローチ 塚田 隆夫 氏 東北大学 未来科学技術共同研究センター 特任教授	[特別シンポジウム] [MEMS・半導体次世代テクノロジーフォーラム]	nano tech 出展者セミナー 光技術を用いてテラヘルツ波を計測するオシロスコープ テラヘルツ波の波長を高速・高精度に可視化 片山 郁文 氏 神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC)
9:30- 10:00 微粒子の構造制御による電池材料への展開 内藤 敦男 氏 大阪大学 接合科学研究所 教授	12:40- 13:10 13:10- 13:30	10:30- 11:00 半導体・デジタル産業戦略の現状と今後 金指 壽 氏 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 課長	10:30- 11:00 戦略的研究シース育成事業「光技術を用いた超広帯域テラヘルツオシロスコープの開発」研究代表者 兼 横浜国立大学 教授
10:00- 10:20 アシザフ・ファインテックの微粉砕・分散技術を活用したリチウムイオン電池製造プロセスへの提案 長井 明 氏 アシザフ・ファインテック 営業課 業務推進役	nano tech 出展者セミナー Taiwan Pavilion 1. STRONG NANO TECH / 2. National Cheng Kung University / 3. Institute of Physics, Academia Sinica / 4. National Chung Hsing University / 5. Protustech / 6. Nanovie / 7. Harvard Medical School Mclean Hospital / 8. Molsentech	11:00- 11:30 セラミックエレクトロニクスの創成と静電ハーベスターへの展開 田中 優実 氏 東京理科大学 工学部 工業化学科 准教授	11:00- 11:30 超広帯域フレキシブル光撮像センサと非破壊検査分析応用 河野 行雄 氏 神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC)
10:20- 10:40 リチウムイオン電池正極用分散剤 平石 篤司 氏 花王 テクノロギカル研究所 上席主任研究員	14:00- 14:45	12:00- 12:30 サーマルダイオード赤外線センサ MeDIR と熱画像処理技術による活用 三輪 祥太郎 氏 三菱電機 先端技術総合研究所 センサ情報処理システム技術部 主任研究員	12:00- 12:30 ナノスケール分析・解析技術を探る 鈴木 操 氏 プルカー・ジャパン ナノ表面計測事業部
10:40- 11:00 リチウムイオン二次電池材料の性能向上を目指す粉砕・分散 五十嵐 章裕 氏 アイメックス 開発本部長	[nano tech 特別シンポジウム] 酸化物型全固体電池実現への道	[ASTEC トライボロジーセミナー] パネルディスカッション	12:45- 13:15 リグニンからの芳香族ポリマー原料の選択的生産 國木 和典 氏 弘前大学 農学生命科学部 准教授
11:00- 11:20 全固体電池正極活性物質へのナノスケールコーティング 吉森 誠 氏 パウレック 研究開発本部 アシスタントマネージャー	15:00- 15:40 酸化物型全固体電池の実現に向けたプロセスサイエンスへの挑戦 高田 和典 氏 物質・材料研究機構 エネルギー・環境材料研究拠点 拠点長	カarbonニュートラルの実現に貢献するトライボロジー技術と試験・評価技術 モチレーク 佐々木 信也 氏 東京理科大学 工学部 機械工学科 教授	nano tech 出展者セミナー CNF 配合高機能性樹脂のご紹介 吉川 祐樹 氏 花王 テクノロギカル研究所
[nano tech 特別シンポジウム] ナノ粒子分散系をプロセスサイエンスでも見直し、プロセス・製品設計へ	15:40- 16:00 酸化物型全固体電池における低温接合プロセスへの挑戦 三好 正徳 氏 物質・材料研究機構 エネルギー・環境材料研究拠点 主任研究員	バイロミクス アールテック・インストゥルメンツ / アントンパール / ジャパン / エリニクス / 島貿易 / 新東科学 / 東陽テクノ / パーカ・熱処理工業 / レスカ	ナノセルロースジャパン特別講演 「三次元表面形状測定」と「スクラッチ&インデンテーション試験・摩擦摩耗試験」に対応した最先端の計測機器紹介、及び評価事例 榎本 啓二 氏 堀場製作所 分析・計測開発本部 アプリケーション開発部 Open Innovationチーム
11:45- 12:00 プロセスサイエンス基盤構築の目指すもの 永野 智己 氏 文部科学省 プログラムオフィサー / 技術参与 科学技術振興機構 総括ユニットリーダー 研究監	16:00- 16:20 酸化物型全固体電池の接合界面の反応予測へのアプローチ 大出 真知子 氏 物質・材料研究機構 構造材料研究拠点 主任研究員	第4回 ナノカーボンオープンソリューションフェア 特別講演 マルチハザード時代の都市防災科学技術 ～東京理科大学の取り組み～ CNT 熱電発電の研究と社会還元 山本 貴博 氏 東京理科大学 理学部物理学科 教授 / 博士 (理学) / preArch 取締役	13:35- 14:15 ナノセルロースの解凍・セグメントの相対サイズ決定などの複合分析事例を一挙ご紹介 榎本 啓二 氏 堀場製作所 分析・計測開発本部 アプリケーション開発部 Open Innovationチーム
12:00- 12:20 ナノ材料の界面・構造制御プロセスサイエンスの基盤構築への挑戦 阿凡 雅文 氏 東北大学 材料科学高等研究所 教授	16:20- 16:40 酸化物系固体電解質を用いた積層全固体電池の実現に向けた材料・プロセス開発 川村 知梨 氏 本通電機 開発研究所 材料開発一部 主任研究員	14:45- 15:30 カarbonナノチューブ市場の現状と将来展望 遠藤 光司 氏 矢野経済研究所 インドスリアルテクノロジユニット 上級研究員	nano tech 出展者セミナー リチウムイオン電池における正極・負極の多角的評価 宮本 文司 氏 島津製作所
12:20- 12:40 ナノ粒子分散系は疑似分子系でモデル化・設計できるか 吉居 昌明 氏 東北大学 多元物質科学研究所 准教授	16:40- 17:00 LLZ 系酸化物固体電解質および全固体電池の開発 彦坂 英昭 氏 日本特殊陶業 材料開発本部 研究部 首席専門職		15:15- 15:45 「三次元表面形状測定」と「スクラッチ&インデンテーション試験・摩擦摩耗試験」に対応した最先端の計測機器紹介、及び評価事例 榎本 啓二 氏 堀場製作所 分析・計測開発本部 アプリケーション開発部 Open Innovationチーム
12:40- 13:10 粗視化分子動力学シミュレーションからのアプローチ 久保 百司 氏 東北大学 金属材料研究所 教授			16:00- 16:45 NanoMalaysia 同時通訳有

2月2日 (木)

東1 ホール		東2 ホール	
メインシアター	メインシアター	シース&ニースセミナーA	シース&ニースセミナーB
[nano tech 特別シンポジウム] データ駆動型ナノテクノロジー～素材からデバイス、システムへ～	nano tech 出展者セミナー NBCI の活動紹介と会員サービス 石井 伸亮 氏 ナノテクノロジープラットフォーム推進協議会 (NBCI)	ASTEC 第18回表面技術会議：1日目	nano tech 出展者セミナー セルロース系材料・電子デバイス等の最先端での様々な液性状の製造プロセスに最適! 攪拌・微細化装置のラインナップ紹介 前田 直孝 氏 住友重機械プロセス機器 技術部
9:35- 10:10 多結晶材料情報学を基盤とした材料開発の新展開 宇佐美 徳隆 氏 名古屋大学 大学院工学研究科 教授	14:00- 14:10	9:30- 10:00 オペランド電子顕微鏡技術による全固体電池反応の可視化 山本 和生 氏 ファインセラミックスセンター ナノ構造研究所 主任研究員	10:30- 11:15 名古屋大学の研究設備とノウハウ、使えます! 大住 克史 氏 名古屋大学
10:10- 10:45 機械学習を用いたアナログ集積回路の自動設計・合成 高井 伸和 氏 京都工芸繊維大学 教授	14:10- 14:45	10:15- 10:45 種々の分析手法を用いた全固体電池の評価 平島 慧太 氏 日産自動車 現象解析部現象解析室 TEAM 解析チーム	11:30- 12:15 マテリアルズ・インフォマティクスのためのマルチスケールシミュレーション / ソフトウェア J-OCTA 菊井 健朗 氏 JSOL エンジニアリング事業本部
10:45- 11:20 物理リザーバ・コンピューティングによる省電力情報処理 山根 敬志 氏 IBM 東京基礎研究所 リサーチ・スタッフ・メンバー	[nano tech 特別シンポジウム] サーキュラーエコノミーを支える技術最前線	ASTEC 企画セミナー 摩耗・摩擦関連 特別セミナー	12:30- 13:00 マテリアルズ・インフォマティクスの一歩公開! 二次電池、電子・導体材料、カーボン材料に対する元素分析、分光分析、粒子計測事例をご紹介 土屋 明 氏 堀場製作所
Preferred Computational Chemistry 特別講演	15:00- 15:30	11:45- 12:10 DLC の国際標準化(動向)と産業利用 平塚 俊工 氏 DLC 工業会	13:30- 14:00 大阪大学におけるナノ科学技術の研究と人材育成の紹介 谷口 正輝 氏 大阪大学 産業科学研究所 産業科学ナノテクノロジーセンター 教授 松岡 裕隆 氏 大阪大学 産業科学研究所 産業科学ナノテクノロジーセンター 教授 松岡 透 氏 大阪大学 エマージングサイエンスデザインR3センター 特任教授
[NEDO セミナー] プロセスインフォマティクスの最前線 ～次世代の機能性材料の開発加速～	サーキュラーエコノミー実現に向けた政策の動向 喜多川 和典 氏 日本生産性本部 コンサルティング部 エコマネジメントセンター長 上智大学大学院 地球環境学研究所 非常勤講師	ASTEC 出展者プレゼンテーション 表面改質・コーティング・塗装など界面や劣化変化の解析に役立つ断面強度分析試験 (MSE 試験) 松岡 亨 氏 バルメント代表取締役	[NEDO セミナー] マルチマテリアル車体を実現する材料・技術とガルバニック腐食対策 千賀 寛司 氏 新構造材料技術研究組合 (ISMA) プロジェクトマネージャー 平田 好則 氏 新構造材料技術研究組合 (ISMA) プロジェクトマネージャー 藤田 栄 氏 新構造材料技術研究組合 (ISMA) プロジェクトマネージャー
12:15- 13:45	15:30- 16:00	nano tech 出展者セミナー 広島大学における次世代太陽電池開発に向けた取り組み: 有機半導体を用いた有機薄膜太陽電池 尾坂 祐 氏 広島大学 大学院先進理工学系研究科 教授	15:30- 16:15 小川 貴弘 氏 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 革新的新構造材料等研究開発プロジェクト プロジェクトマネージャー 材料・ナノテクノロジー部 主査
BASF が目指すサーキュラーエコノミーへの移行 入江 剛 氏 BASF ジャパン 経営推進本部 サステナビリティ推進部 部長	16:00- 16:30	MEMS 出展者セミナー MEMS 加工における樹脂接合プロセスのご紹介 2023年 六甲電子株式会社 様 松田 洋輔 氏 六甲電子 営業部	16:20- 16:50 An Advanced Materials Platform to Reimagine Electronics Ajay Virkar 氏 C3 Nano CTO & Board Member
マテリアル DX が拓くフラックス法結晶育成 手嶋 勝彦 氏 信州大学 先端材料研究所 所長・教授	16:30- 17:00	スタートアップ ビッチ スペースファクトリ / イー・アット・イーエポリューション / ナノジャパン / Shimada Appli / ALDジャパン	

講演一覧 (特別シンポジウム・主催者企画講演・出展者セミナー・ナノテクノロジー関連会議)

2月3日 (金)

東1 ホール				東2 ホール			
メインシアター		シース&ニースセミナーA		シース&ニースセミナーB			
事前登録制		ASTEC 第18回表面技術会議：2日目		nano tech 出展者セミナー			
[nano tech 特別シンポジウム] 創薬に向けたナノ構造解析最前線		量子ビームによる表面改質技術の開発と医学応用		巨大負熱膨張材料を用いた熱膨張制御			
9:30-10:00	AMED BINDS 事業におけるクワイオ電顕の整備状況と新規サンプル調製法の紹介 クワイオ電顕の自動化・遠隔化による創薬の加速化にむけて 井上 豪 氏 大阪大学 大学院薬学研究科 教授	12:30-12:55	藤井 啓祐 氏 大阪大学 大学院基礎工学研究科 教授 / 大阪大学 量子情報・量子生命研究センター 副センター長	9:30-10:00	栗 正樹 氏 神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC) [次世代機能性酸化材料] プロジェクト リーダー 兼 東京工業大学 教授		
	10:00-10:30	立体構造情報を活用したDNAナノテクノロジーと創薬への応用 近藤 次郎 氏 上智大学 理工学部物質生命理工学 准教授	12:55-13:20	固体中スピン欠陥を活用した量子センシング 大島 武 氏 量子科学技術研究開発機構 量子機能創製研究センター センター長	11:30-12:00	短時間 (約10分) で等電点 (ゼータ電位 / 流動電位がゼロとなる点) を測定! 測定機能付き流動電位測定装置 STABINO ZETA、高濃度・高粘度・ナノ粒子・数百ミクロン粒子の測定が可能。 佐藤 浩二 氏 マイクロトラック・ベル	
		10:30-11:00	神経変性疾患に蓄積する異常タンパク質の生化学、構造解析 長谷川 成人 氏 東京都医学総合研究所 脳・神経科学研究分野長 認知症プロジェクトリーダー	13:20-13:45	量子技術による超高感度MRI 根来 誠 氏 大阪大学 量子情報・量子生命研究センター 准教授 / 量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所 グループリーダー	12:30-13:00	ナノ粒子の評価にお困りではないですか? 先端材料の分散性評価、高濃度な電池材料の研究開発、CMPスラリーの品質管理など、幅広い分野で活躍する「粒子分散」の判定事例をご紹介します! 原 尚汰 氏 堀場製作所
[nano tech 特別シンポジウム] ナノテックで加速する量子未来社会		事前登録制		[NEDOセミナー] 発展・拡張する「CN」Fの世界 ～セルロースナノファイバーの社会実装を進める先駆者たちの戦術～			
11:45-12:05	日本の量子政策の最前線 ～ナノテックとの融合による量子技術の実用化に向けて～ 迫田 健吉 氏 文部科学省 研究振興局 基礎・基礎研究課 量子研究推進室 室長 / 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 企画官	nano tech 大賞授賞式		モテレーダー			
	12:05-12:30	超伝導量子コンピュータの研究と展望 田淵 豊 氏 理化学研究所 量子コンピュータ研究センター ユニティリーダー	14:00-15:15	nano tech 大賞授賞式 nano tech 実行委員会	14:15	ハニ 滋 氏 東レグループ・繊維技術開発部 NEDO OFC海外・アジア戦略 / 福岡県 花王ノズキ/マシン / 大王製紙 / ナノセルロースジャパン / パナソニックHD	
		12:30-12:55	理化学研究所 量子コンピュータ研究センター ユニティリーダー	[nano tech 特別シンポジウム] 死の谷を越える技術革新～MIとPIの一体化による高速実装～		パネリスト	
		日本のマテリアル産業を変える! ～データ駆動型開発によるマテリアル分野スタートアップ創出のエコシステム構築の挑戦～ 木場 祥介 氏 ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター 代表取締役/パートナー		ナノセルロースジャパン特別講演			
		データ駆動によるタンパク質材料開発 坂田 一樹 氏 Spiber 執行役員 / マテリアル部門長		セルロース製造技術に応用したセルロースナノファイバー (RCNF) の特長と適用事例 土屋 大樹 氏 レンゴ 中央研究所研究企画部企画第2課 担当課長			
		材料革新への挑戦: MI×PI×DX@KYOCERA 仲川 彰 氏 京セラ 執行役員 研究開発本部長 兼 デバイス研究開発統括部長		容易にナノ化可能な酸化セルロースの応用展開 高田 じゅん 氏 東亜合成 応用研究所			
		nano tech 出展者セミナー		nano tech 出展者セミナー			
		ハイデルベルグ・インストルメンツ社が提供するナノファブリケーション用装置のご紹介 ハイデルベルグ・インストルメンツ		実験・解析データの利活用及びAI化を進めてR&Dに革新を! データ分析・AI活用を進める上で必要となる準備と環境 上島 豊 氏 キャットライ・サイエンス 代表取締役			

ナノテクノロジー関連会議 nano week 2023

2月1日 (水)

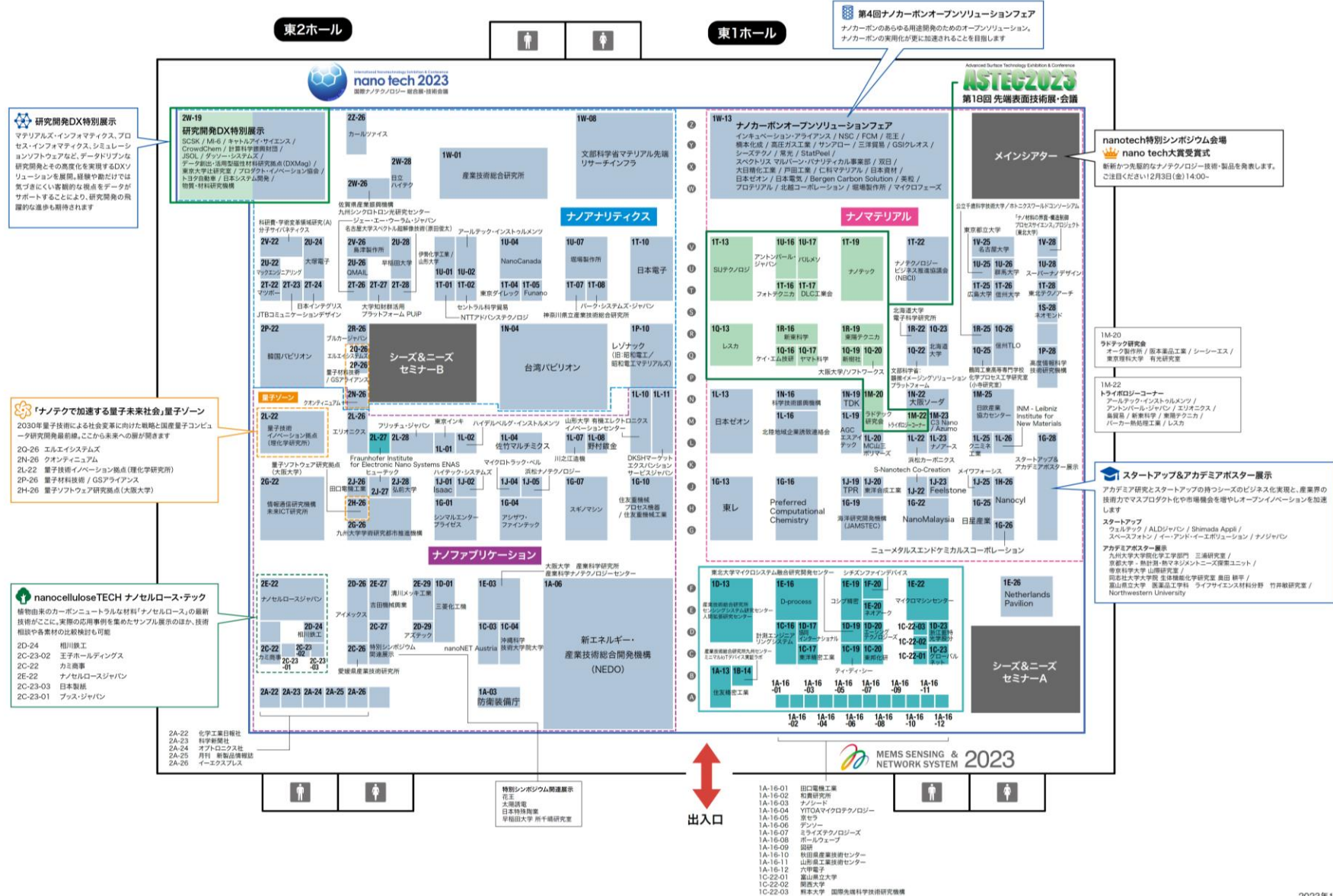
会議棟 (1階102会議室) ※オンライン併用開催	
13:15-16:00	令和4年度 秀でた利用成果・技術スタッフ表彰式、秀でた利用成果発表会 文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ 物質・材料研究機構 マテリアル先端リサーチインフラセンター運営室
会議棟 (6階606会議室) ※オンライン併用開催	
13:00-17:10	未来ICTシンポジウム 2023 ～Beyond 5Gに向けた光・電子デバイス技術の新展開～ 情報通信研究機構 未来ICT研究所
会議棟 (6階609会議室) ※オンライン併用開催	
14:00-17:30	ANF Workshop on Commercialization (英語進行) Asia Nano Forum (ANF)
会議棟 (6階610会議室)	
13:30-17:00	JEITA ウェアラブルエレクトロニクスセミナー 電子情報技術産業協会 (JEITA) ウェアラブルエレクトロニクス標準化専門委員会

2月2日 (木)

会議棟 (6階606会議室)	
第15回国際ナノテック団体会議	
9:30-11:30	15th Nanotech Association Conference (英語進行) ナノテクノロジービジネス推進協議会 (NBCI)
会議棟 (6階609会議室) ※オンライン併用開催	
13:30-17:00	2023 ANF Symposium on User-Facility Network in Asia (英語進行) Asia Nano Forum (ANF)

2月3日 (金)

会議棟 (1階102会議室) ※オンライン併用開催	
13:10-16:40	ナノテクノロジー国際標準化ワークショップ 2023 産業技術総合研究所 (AIST) ナノテクノロジー標準化国内審議委員会
会議棟 (1階 レセプションホール AB) ※オンライン併用開催	
10:00-17:05	第21回マテリアル戦略総合シンポジウム (JAPAN NANO 2023) 文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ 物質・材料研究機構 マテリアル先端リサーチインフラセンター運営室



出展者一覧

 nano tech 2023 展示7/27(土)～28(日) 総合展示棟・後援会館	
アールテック・インストゥルメンツ	1U-02
INM・Leibniz Institute for New Materials (ドイツ)	1L-26
Issac	1J-01
アイマックス	2D-26
アサヒ・ファインテック	1G-04
アステック	2D-29
イクエクスプレス	2A-26
伊勢化学工業 / 山形大学	1U-01
AGCエスアイテック	1L-19
S-Nanotech Co-Creation	1J-22
NTTアドバンステクノロジ	1T-01
愛媛県産業技術研究所	2C-26
MC 山三ボーマーズ	1L-20
エリオニクス	2L-26
大阪ソーラ	1N-22
大阪大学 産業科学研究 産業科学ナノテクノロジーセンター 大阪大学エマージングサイエンスデザインR3センター	1E-03
大塚電子	2U-24
三井物産	2U-24
沖縄科学技術大学院大学	1C-04
オプトロニクス社	2A-24
カルテックス	2Z-26
海洋研究開発機構 (JAMSTEC)	
AKICO	1G-19
三井物産・エフ・アイ	
科学技術振興機構	
ミサオ	1N-16
化学工業日報社	2A-22
科学新聞社	2A-23
科学研究所 学術政策研究 (A) 分子サイバネティクス	2V-22
神奈川県立産業技術総合研究所	1T-07
川之江通機	1L-07
韓国/ベリオン	
DOH	2P-22-02
Dowitec	2P-22-06
JEIO	2P-22-05
NanoNC	2P-22-07
Nano Technology Research Association	2P-22-04
S.W. Chemicals	2P-22-01
Sukgung AT	2P-22-08
九州大学学術研究都市推進機構	
九州先端科学技術研究所	
九州大学	2G-26
KOALA Tech	
福岡県 産業・科学技術振興財団	
QMAIL	2U-26
清川メッキ工業	2E-29
クニミネ工業	1L-25
群馬大学	1U-26
月刊 新製品情報誌	2A-25
高度情報科学技術研究機構	1P-28
公立千歳科学技術大学 / 秋田県立大学コンソーシアム	1R-25
佐賀県産業振興機構 九州シンクロtron光研究センター	2W-26
佐竹マルミクス	1L-04
産業技術総合研究所	
nano tech 2023 産経 材料・化学機械 / パンフレット サークキュラー・エコノミー @ Online	
産業材料 @ Online	
ナノマテリアル① @ Online	
ナノマテリアル② @ Online	
プロセス・イノベーション① @ Online	
プロセス・イノベーション② @ Online	
最先端機器 @ Online	
コンソーシアム / プラットフォーム紹介 @ Online	
C3 Nano / Azumo (アメリカ)	1M-23
ジェー・エー・ウーラム・ジャパン	2T-26
島津製作所	2V-26
情報通信研究機構 未来 ICT 研究所	2G-22
新エネルギー 産業技術総合開発機構 (NEDO)	
モビリティ	
川崎重工業	
京都大学	
産業技術総合研究所	
JFEスチール	
シノボロ	
新構造材料技術研究組合 (ISMA)	1A-06
新明和工業	
東レ	
トヨタ自動車	
トヨタ自動車	
物質・材料研究機構	

材料開発	
アイクスタル	
安藤・岡	
AGC	
ENEOS	
京セラ	
慶應義塾大学	
産業技術総合研究所	
JSR	
信州大学	
住友化学	
河内デンソー	
太陽誘電	
テックセル	
テックセル	
電力中央研究所	
東海国立大学機構	
東洋エン지니어リング	
TOTO	
奈良先端科学技術大学院大学	
日本ゼオン	
日本ガイシ	
日本特殊陶業	
ノリタケカンパニーリミテド	
ファイバーステックセンター	
ブリタニ	
Mipox	
三井物産	
丸善石油化学	
三井物産	
村田製作所	
橋本工業	
理化化学研究所	
バイオエクスプレス	
オンチア・バイオテクノロジー	
高エネルギー加速器研究機構	
産業技術総合研究所	
芝浦機械	
スライム	
産業PMC	
大主製機	
大建工業	
東洋建設	
豊橋技術科学大学	
日本製紙	
バナニ・コーポレーション	
堀井大学	
DOH	
UBE	
利島工業	
JSR	
アイシン	
アストロデザイン	
茨城大学	
エアリアル	
コニカミノルタ	
埼玉大学	
産業技術総合研究所	
C&A	
シーブ	
信州大学	
SMILEco 計測	
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	
中部大学	
東北大学	
浜松トクニクス	
フジキン	
物質・材料研究機構	
FLOSFIA	
分子ロケット総合研究所	
ワイエス・ホールディングス	
プロテス	
岡山大学	
オリバス	
関西学院大学	
技術研究組合次世代3D 積層造形技術総合開発機構	
産業技術総合研究所	
東京大学	
東京理科大学	
東京理科大学	
プラズマイオンシステム	
三菱電機	
横浜国立大学	
信州大学	1T-26
信州 TLO	1G-26
シンバルセンタープライス	1G-01
スーパーナノデザイン	1U-28
スギノマシン	1G-07
住友重機プロセスマシナリー / 住友重機工業	1G-10
セントラル科学貿易	1T-02
大学知財群活用プラットフォーム PUIP	
神奈川大学	
埼玉大学	
信州 TLO	
芝浦工業大学	
筑波大学	
東京電機大学	
東京理科大学	
新潟大学	
日本原子力研究開発機構	
横浜国立大学	

台湾/バロビオン	
ACOTECH	
Agaspring Corporation	
Biomedical Translation Research Center (BioTRC), Academia Sinica	
Center for Nanoscience and Nanotechnology, National Sun Yat-sen University	
Core Facility Center, National Cheng Kung University	
Hanzhong Medical School, Miesan Hospital / Taipei Medical University Shuang-Ho Hospital	1N-04
HOU CHI CHEMICAL	
Institute of Physics, Academia Sinica	
Luxor Thermal	
Molientech	
Nanovic	
National Chung Hsing University	
Protusitech	
STRONG NANO TECH	
ZANYI Materials Technology	
山口電機工業	2J-26
韓国工業高等専門学校 化学プロセス工学実習 (小研究室)	1Q-25
TIA	
TDK	1N-19
DKSHマテリアルエクスパンションサービスジャパン	1L-11
TPR	1J-19
東京インキ	1L-01
東京ダイレック	1T-04
東京都立大学	1U-25
東北テクノアーク	1T-28
東洋合成工業	1J-20
東レ	1G-13
名古屋大学	1V-25
名古屋大学スペクトル超解像技術 (原田俊夫)	2T-28
ナノアース	1L-23
NanoCanada	
Applied Quantum Materials	
Edmonton Global	
Embassy of Canada in Japan	
Intravac Thin Film	
Nanalysis	
Nano Ontario	1U-04
Nanopigments Technologies	
Norceda	
Performance BioFilaments	
Soligenic Technologies	
Waterloo Institute for Nanotechnology	
[ナノ材料の界面・構造制御プロセス] (東北大学)	1V-28
Nanocyl (ベルギー)	1H-26
ナノテクノロジービジネス推進協議会 (NBICI)	1T-22
nanoNET Austria	
Joanneum Research	
Materials Center Leoben Forschung	
Protector	
Republic of Austria Federal Ministry for Climate Action, Environment, Energy, Mobility, Innovation and Technology	1C-03
Silicon Austria Labs	
NanoMalaysia	
Almair Photonics	
Blue Snow	
Hijrah Nature Herbs (M)	1G-22
Ideria	
旧欧産協センター	
Czech Nanotechnology Cluster	
Czech Nanotechnology Industries Association	
Digital Surf	
Epiluvac	
GraphenePioneer	1M-25
Humimix	
IVAM Microtechnology Network	
Mallory	
Nanomakers	
SON	
日産産業	1G-25
日本ゼオン	1L-13
日本インテグリス	2T-24
日本サマル・コンサルティング	
日本電子	1T-10
ニース・エレクトロニクス・カルス・コーポレーション	1G-26
オオモト (韓国)	1S-28
Netherlands Pavilion	
Applied Nanolayers	
Apollon Enterprise	
DEI Solutions	
Holst Centre	
IVX4	
Mecal High Tech Systems	
Netherlands Enterprise Agency	1E-26
Oblox	
SCIL Nanocircuit solutions	
Single Quantum	
TernNova	
University of Twente/MESA+ Institute	
VSPARTICLE	

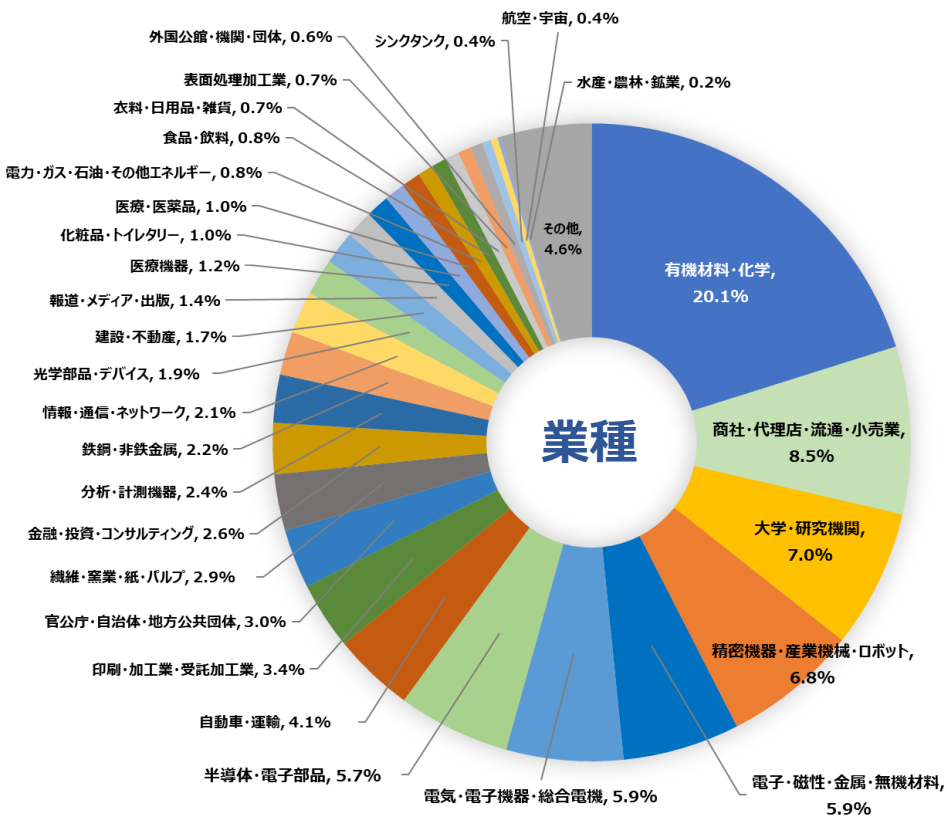
野村謙介	1L-08
パーク・システムズ・ジャパン	1T-08
ハイテック・システムズ	1A-02
ハイデルベルグ・インストルメンツ	1L-02
高松カーボニクス	1L-22
高松ナノテクノロジー	1J-05
日立製作所	2J-27
日立ハイテック	2W-28
ヒューテック	2J-27
弘前大学	2J-28
広島大学	1T-25
Feelstone (韓国)	1J-23
フジミコンポーネンツ	1J-23
Funano (中国)	1T-05
フリッシュ・ジャパン	2L-28
Preferred Computational Chemistry	1G-16
ブルカ・ジャパン	2R-26
防衛省	1A-03
北陸経済企業誘致連絡会	
TDK	
富士通	
北陸経済連合会	
北陸電力	1L-16
北海道大学	1Q-23
北海道大学 電子科学研究所	1R-22
工場製作所	1U-07
マクドラック・ベル	1J-04
マクエンジニアリング	2U-22
マツコ	2T-22
三菱化成	1D-01
メルク・ファルマス	1J-25
文部科学省 振興イノベーション・プラットフォーム	1Q-22
文部科学省 ナノテクノロジー・イノベーション・センター	1W-08
山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター	1L-10
吉田機械興業	2E-27
レノテック (旧: 昭和電工 昭和電工マテリアルズ)	1P-10
早稲田大学	2U-28
第4回ナノカーボン・ナノテクノロジー・ナノ材料・ナノデバイス推進協議会 (法保: ナノテクノロジー・ナノデバイス推進協議会)	
インキュベーション・アライアンス	1W-13-C
NSC	1W-13-B
FCM	1W-13-05
花王	1W-13-03
橋本化成	1W-13-13
高圧工業	1W-13-D
サンアロ	1W-13-07
三洋貿易	1W-13-06
GSICレオス	1W-13-A
システクノ	1W-13-12
索光	1W-13-E
StatPeel (スイス)	1W-13-19
スベクリス マルバール・ナノリチウム事業部	1W-13-08
双日	1W-13-04
双日	1W-13-14
大日精化工業	1W-13-18
戸田工業	1W-13-11
仁科材料	1W-13-01
日本製紙	1W-13-15
日本ゼオン	1W-13-F
日本電気	1W-13-16
Bergen Carbon Solution (ノルウェー)	1W-13-G
美粒	1W-13-10
プロテリアル	1W-13-20
北越コーポレーション	1W-13-17
工場製作所	1W-13-09
マイクロフェーズ	1W-13-02
Nanocell Jose TECH ナノセルロース・テープ	
相川鉄工	2D-24
王子ホールディングス	2C-23-02
カミ商事	2C-22
ナノセルロース・ジャパン	
あいち産業科学技術総合センター	
王子ホールディングス	
KRI	
産業技術総合研究所	
第一工業製薬	2E-22
大正製薬	
中興インダストリアル	
東亜合成	
日本製紙	
ナイターギフト (ヘキサケミカル)	

富士市ONPプラットフォーム	
北越コーポレーション	
工場製作所	2E-22
丸佳興	
リテック・ジャパン	
ユニテカ	
吉川工業所	
日本製紙	2C-23-03
フランス・ジャパン	2C-23-01
研究開発 DX 特別展示	
SCSK	2W-19-07
MI-6	2W-19-03
キャトルアイ・サイエンス	2W-19-02
CrowdChem	2W-19-12
計算科学振興財団	2W-19-08
JSOL	2W-19-01
データ創出・活用型材料研究拠点 (DXMag)	2W-19-11
トヨタ自動車	2W-19-10
物質・材料研究機構	2W-19-05
[ナノテクノロジー・ナノデバイス・ナノ材料] ナノゾーン	
エルエクス・システムズ	2Q-26
クワンテニウム	2N-26
量子技術イノベーション・センター (理化学研究所)	2L-22
量子材料技術 / GSアライアンス	2P-26
量子ソフトウェア研究拠点 (大阪大学)	2H-26
スタンダード	
ウルテック	1G-28-05
ALDジャパン	1G-28-04
Shimada Appli	1G-28-03
スペースフロンティア・イー・アンド・イー・エレクトロニクス	1G-28-01
ナノジャパン	1G-28-02
アカデミア・アカデミー・アカデミー	
九州大学大学院工学部 三浦研究室	1G-28-09
京都大学 熱計測・熱マネジメント・システム・ユニット	1G-28-10
東京科学大学 山崎研究室	1G-28-06
同志社大学大学院 生命機能化学研究室 奥田 雄平	1G-28-08
富山県立大学 産業工学部	1G-28-07
ライフサイエンス材料分野 竹井研究室	1G-28-07
Northwestern University (アメリカ)	1G-28-11
特別シンポジウム関連展示	
花王	
太陽誘電	
日本特殊陶業	2C-27
早稲田大学 所長研究室	

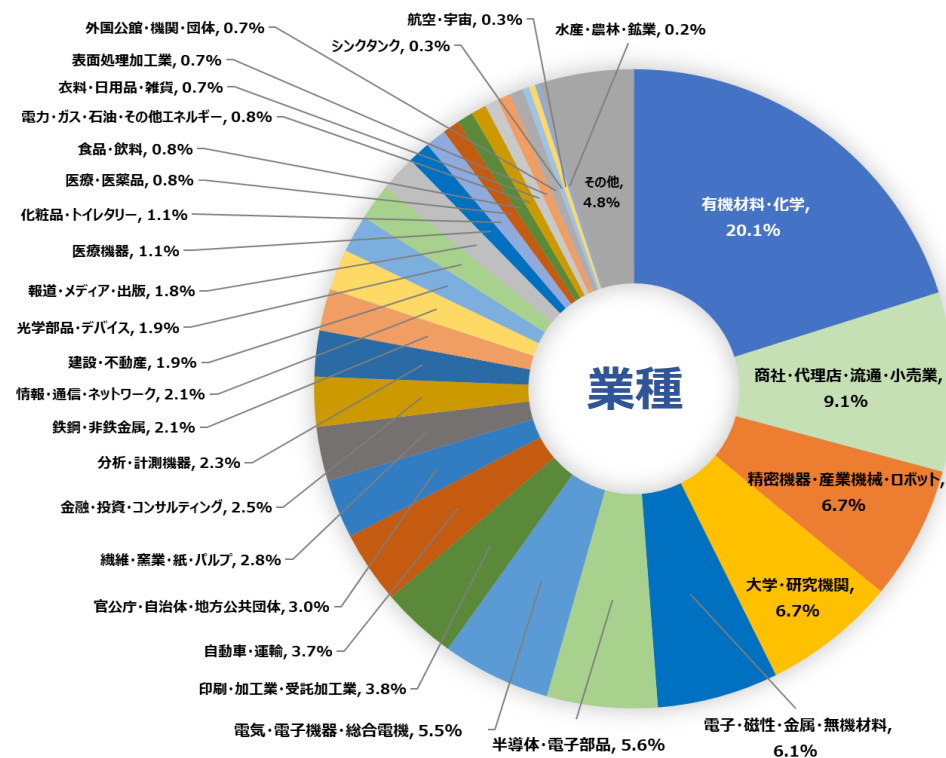


来場者分析（業種）

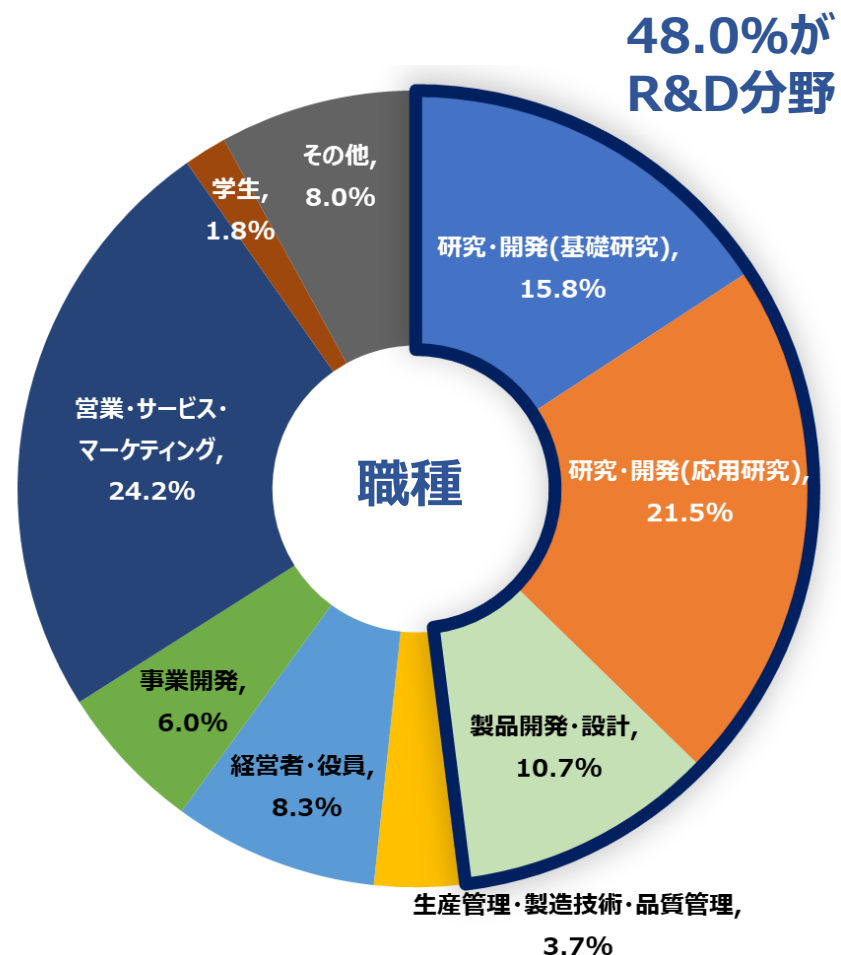
来場者全体



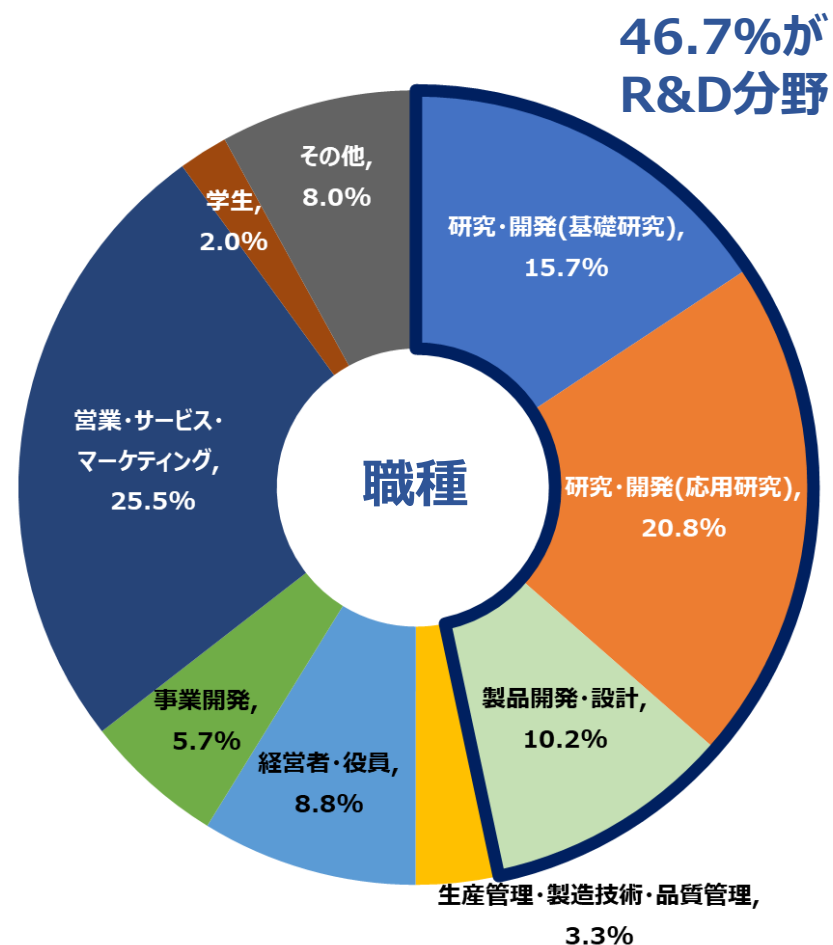
ビッグサイト来場者



来場者全体

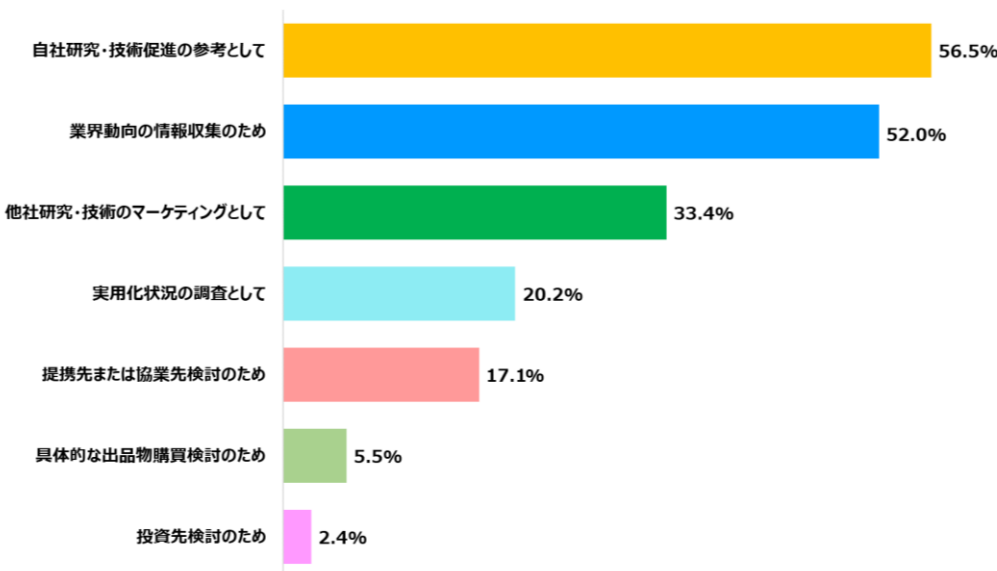


ビッグサイト来場者

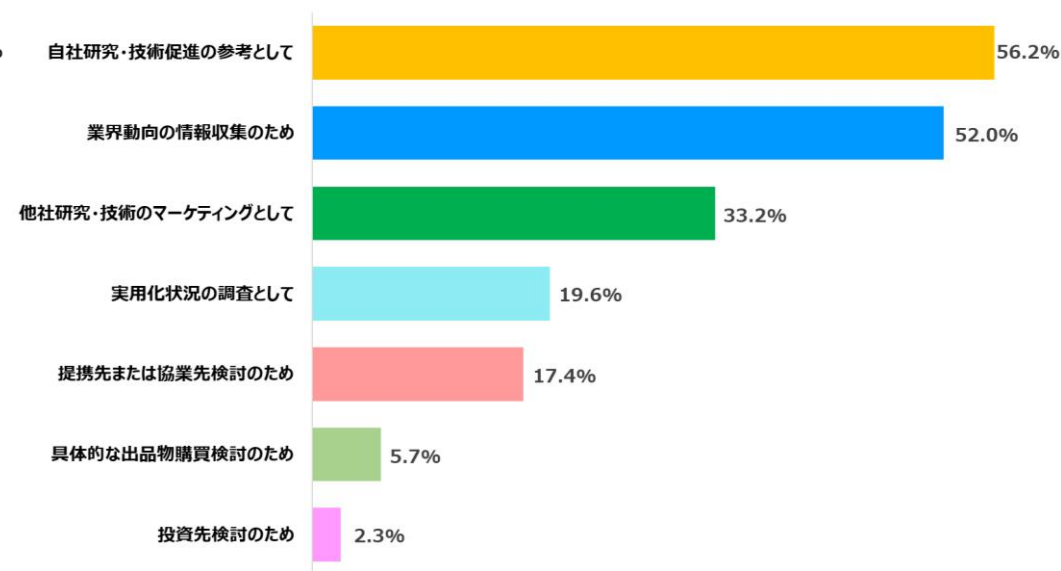


来場者分析（来場目的）

来場者全体 （オンライン含む）

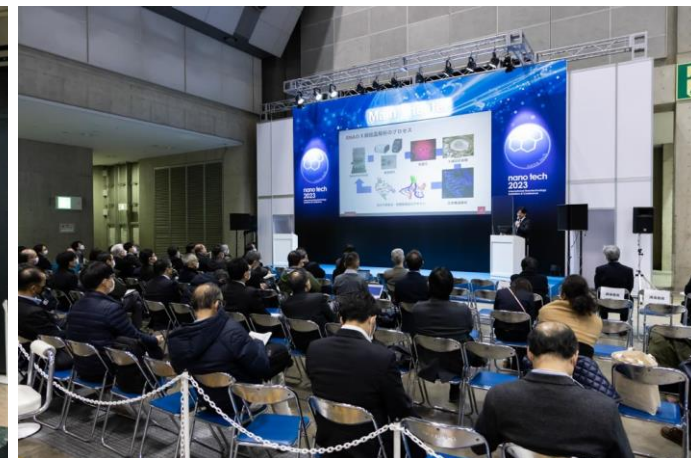
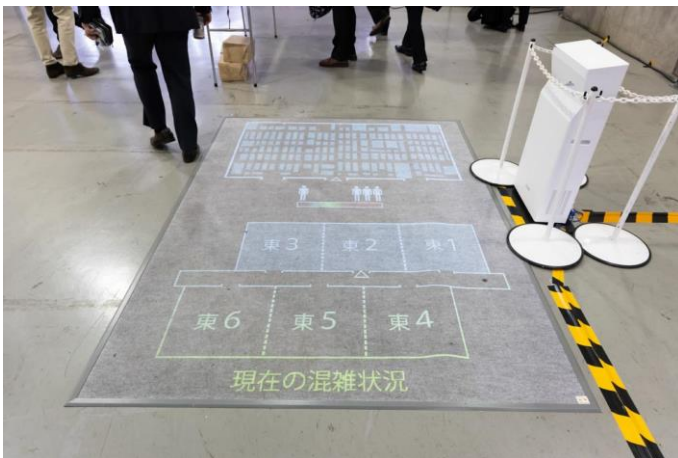


展示会場来場者



新型コロナウイルス感染対策

昨年度に引き続き日本展示会協会の「展示会業界における COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」および東京ビッグサイトの「展示会等における新型コロナウイルス感染防止のための対応指針」を遵守しガイドラインを定め感染症対策を徹底のうえ開催いたしました。



主催者発信ツール

来場案内 100,000 部 以上

発送のほか“e-来場案内”としてデジタルでどこからでもアクセスできるようにしました



出展者取材特集 Nano Insight Japan

新出展者や注目の出展製品・技術について事前取材、ブース来場を促進しました



事務局メルマガ 57,000 名

会期前・リアル展会期中・オンライン展示にあわせ発信し来場動員に寄与しました。平均週2ペース



プレスリリース

記者発表日と会期1週間前に発行、公官庁やPR TIMESで公開しました



広告/記事掲載

読者層に合わせた広告を展開。紙誌媒体のほか、デジタル広告を国内外で展開しました



ナノテク大賞に日本ゼオン カーボンナノチューブの多様な事業展開評価

ツイート シェアする LINEで送る

2023/2/6 05:00



大賞を受賞した日本ゼオン C N T 事業推進部事業推進部長の上島貴氏

表彰式を開き、「nano tech大賞」に日本ゼオンを選んだ。カーボンナノチューブ

で、災害時に建築物の熱配管時にセンシングして無線で知ら

などを開発。カーボンナノチューブ多様な事業展開を評価した。日刊

には TDK を選んだ。第 2 回国際ナノテク展・技術会議」に出席した 3 6



日刊工業新聞・日経産業新聞・ニュースイッチ・アドコムメディア・化学工業日報・科学新聞社・オプトロニクス社・新製品情報・Q-Mail・イーエクスプレスなど

その他 展示会におけるサステナビリティ：取り組み事例

当社JTBコミュニケーションデザインは展示会主催・運営会社として、サステナブルな展示会の開催を推進しています。サステナビリティ方針、調達コード、運用方法など企画の段階から提案を行い、主催者である企業・団体のサステナビリティの実現に向けた積極的な取り組み支援を行っています。業界の従来型のエコシステムだけでなく、地域社会とも連携しながら、持続可能な社会の実現を目指します。また、nano techでは展示会のサポート会社と連携し木材の使用を削減したブースの販売等を行い、展示会の脱炭素化にも取り組みました。

➤ 会場電力

CO₂排出量を実質ゼロへ
「CO₂ゼロMICE®」*を導入

展示会場で使用する
電気を再生可能
エネルギーに置き換え

* CO₂ゼロMICE®

MICEを実施する際に、その
会場で使用される電気を再生
可能エネルギーに置き換える
ことでCO₂を実質0にできる
サービスです



➤ 廃棄量の削減

- 持続可能な取り組みに賛同するパートナー選定
- 廃棄量が削減できるブースデザイン設計

木材使用量を削減したブースの販売
廃棄量の把握と公開



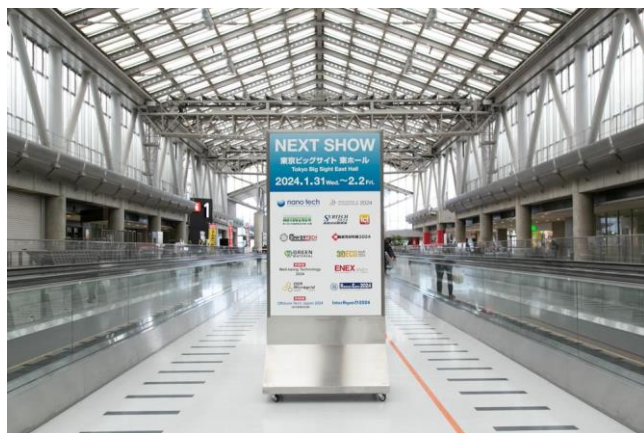
トレースできた廃棄量（一部）とリサイクルは以下のとおり

- ・招待状（紙素材）1,455 kg → 再生紙
- ・特設ステージ（木材）1,750 kg → パーティクルボード
- ・ブース（プラスチック）8,200 kg
→ マテリアル リサイクル・サーマルリサイクル



廃棄量削減に向けて次回展示会の
デザイン設計を再考します

主催：
nano tech実行委員会
株式会社JTBコミュニケーションデザイン



委員長	川合 知二（大阪大学 産業科学研究所 招聘教授 / 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 技術戦略研究センター フェロー / 国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター 特任フェロー / 東京都市大学 特別教授）
副委員長	馬場 嘉信（名古屋大学 大学院工学研究科生命分子工学専攻 教授 / ナノライフシステム研究所 所長/量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所 研究所長）
委員	荒川 公平（日本ゼオン株式会社秘書室 特別経営技監） 石井 伸晃（一般社団法人ナノテクノロジービジネス推進協議会 事務局長） 伊藤 聡（公益財団法人 計算科学振興財団 チーフコーディネータ） 伊藤 忠（文部科学省「材料の社会実装に向けたプロセスサイエンス構築事業（Materealize）」サブプログラムディレクター） 大蔵 善博（日本電子株式会社 経営戦略室 グローバルマーケティング 常務執行役員） 亀井 信一（株式会社三菱総合研究所 研究理事） 木村 将弘（東レ株式会社 研究・開発企画部長兼CR企画室長兼技術センター企画室参事） 黒川 卓（中部大学 工学部 教授 / 東北大学 特任教授 / 東京都市大学 客員教授） 小林 直人（日本学術振興会ロンドン研究連絡センター センター長 / 早稲田大学 参与・名誉教授） 柴田 直哉（東京大学大学院工学系研究科総合研究機構 機構長・教授） 武仲 能子（国立研究開発法人産業技術総合研究所 材料・化学領域 機能化学研究部門 主任研究員） 竹村 誠洋（国立研究開発法人科学技術振興機構 イノベーション拠点推進部 SIP参事役） 田中 秀吉（国立研究開発法人情報通信研究機構 未来ICT研究所 総合企画室 室長） 出村 雅彦（国立研究開発法人物質・材料研究機構 統合型材料開発・情報基盤部門 部門長） 長山 智男（株式会社リコー 先端技術研究所 技術経営センター 技術戦略室 Executive Technology Expert ） 西島 和三（独立行政法人 日本学術振興会 監事 / 国立研究開発法人 科学技術振興機構 A-STEPプログラムオフィサー / 東北大学 未来科学技術共同研究センター 特任教授 / 横浜市立大学 医学部 客員教授） 林 成和（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 材料・ナノテクノロジー部 部長） 原 重樹（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 材料・化学領域 ナノ材料研究部門 研究部門長） 原 正彦（東京工業大学 物質理工学院 応用化学系 教授 / 国立研究開発法人 理化学研究所 客員研究員） 久田 祥之（株式会社デンソー 技術開発推進部 技術渉外総括室） 平原 奎治郎（国立研究開発法人科学技術振興機構 イノベーション拠点推進部 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「統合型材料開発システムによるマテリアル革命」フェロー） 古屋 一夫（国立研究開発法人物質・材料研究機構 名誉研究員 / 国際顕微鏡学会連合 副会長） 八瀬 清志（先端素材高速開発技術研究組合（ADMAT）専務理事補佐） 吉田 勝（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 材料・化学領域 触媒化学融合研究センター 副研究センター長） 萬 伸一（国立研究開発法人理化学研究所 量子コンピュータ研究センター 副センター長）
事務局長	松井 高広（株式会社JTBコミュニケーションデザイン シニアフェロー）
後援	内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、日欧産業協力センター、情報通信研究機構、物質・材料研究機構、科学技術振興機構、産業技術総合研究所、新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本経済団体連合会、ナノテクノロジービジネス推進協議会
協賛	応用物理学会、日本化学会、日本バイオマテリアル学会、日本分析化学会、ナノ学会、フラーレン・ナノチューブ・グラフェン学会、日本顕微鏡学会、日本セラミックス協会、日本物理学会、高分子学会、ナノセルロースジャパン（予定）

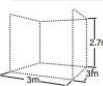
次回展 nano tech 2024のご案内

Jtb Communication Design

● 出展料

ブース出展

企業 **¥374,000 (税込)**
独法・公的機関・海外パビリオン・アカデミア **¥198,000 (税込)**



出展料には以下が含まれています。
・出展スペース1小間＝9m(開口3m×奥行3m)
※隣接する小間がある場合は、事務局内で仕切りパネル(高さ2.7m)を設置します。但し、角小間の場合、通路側のパネルはつきません。
※装飾・電気・通信設備等の工事費および使用料は付帯しております。
・製品情報(資料・画像・動画)10点まで掲載可能
・上記に掲載した資料・動画の閲覧者データの取得
・ビジネスマッチングシステム(アポイント機能)
・来場案内(招待状)

● 参考価格



1小間 パッケージプラン

¥143,000 (税込)～

※2小間・3小間用アップグレードプランもございます。
※申込先は、主催者指定施工会社となります。

展示台	W900×D700×H750	2台
受付カウンター	W900×D450×H800	1台
パラペット	H300	3m
足場 2階 2階用足場	W1200×H200	1枚
パイプイス	(A4線型 12脚)	2脚
カタログスタンド		1台
照明		1ヶ
スポットライト	100W	3ヶ
床面カーペット	カーペット敷込み	9㎡
新築工事	電気使用込み	14W
コンセント	2口	1ヶ
ゴミ箱		1ヶ

※期間中の消費電力(300W)も含む

出展者プレゼンテーション

● メインシアタープレゼンテーション

会場 オープン形式 シアター 120席 (予定)
料金 1セッション 45分 **¥275,000 (税込)**

● シーズ&ニーズセミナー

会場 オープン形式 シアター 100席 (予定)
料金 1セッション 45分 **¥165,000 (税込)**
1セッション 30分 **¥110,000 (税込)**

■ 料金に含まれるもの
・プレゼンテーション用プロジェクター
・音響機材一式(マイク2本、スピーカー)

■ 申込方法
・お申し込みは先着順にて受け付けます。
・発表日時は先着順にてご案内いたします。
・同時通訳をご希望の方は事務局まで別途ご相談ください。

申込方法・スケジュール

● 申込方法

nano techのウェブサイトにて、**2023年1月18日(水)**からオンラインで受付いたします。
本展示会は2023年7月31日(月)迄は仮申込(有効期限内のキャンセル料が発生しません)が可能です。
2023年8月1日(火)以降、本申込への自動切替えとなります。

1 申込 締切日: 2023年9月29日(金)

※但し、締切前でも予定の小間数になり次第締切しますので、お早めにお申込みください。

2 出展料のお支払い: 出展本申込後、請求書を発行いたします。

請求書記載の指定日までにご出展料を指定口座へお振込みください。

3 出展申込の取消: 出展本申込後の取消は原則として出来ません。但し、事務局でやむを得ないと判断した場合は取消を認め、出展規約の基準で解約料をお支払いいただきます。



オンライン申込

規約

● スケジュール

2023年	7月	9月	10月	12月	2024年
1月 18日(火) 出展申込開始	31日(月) 仮申込有効期限	29日(金) 本申込締切	29日(金) 出展者説明会 (予定)	29日(金) 各館提出書類 締切	1月29日(月)・30日(火) 投入・設営期間 1月31日(水)～2月2日(金) 展示会会場

連絡先 nano tech 実行委員会事務局 / (株)JTBコミュニケーションデザイン内
〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング
TEL:03-5657-0760 FAX:03-5657-0645 E-mail:nanotech@jtbcom.co.jp

Jtb
Communication
Design

詳しくは事務局まで
nanotech@jtbcom.co.jp



nano tech
International Nanotechnology Exhibition & Conference

第23回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議

www.nanotechexpo.jp

主催 nano tech 実行委員会・株式会社JTBコミュニケーションデザイン

会期 **2024年1月31日(水)～2月2日(金)**

会場 **東京ビッグサイト東ホール**

研究開発の事業化とイノベーション共創を実現する



主催者特別展示(予定)

